



2023年9月11日

各 位

会 社 名 ギグワークス株式会社
本 社 所 在 地 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
代 表 者 代表取締役社長 村田 峰人
(コード番号：2375 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
管理本部長 小島 正也
(TEL 03-6832-3260)

日本直販株式会社（当社連結子会社）株式の一部譲渡ならびに

秋元康氏の「総合プロデューサー」就任に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の100%子会社である日本直販株式会社（以下、「日本直販」といいます。）の株式の一部(20%)を、秋元康氏の関係者4名に譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本譲渡と同日付で、日本直販の総合プロデューサーに「秋元康氏」が就任いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 本件株式譲渡の理由及び内容

本日、「社外協力者に対する新株予約権の発行に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社は、作詞家、プロデューサーである秋元康氏を含めた2者に対して、有償ストック・オプションの付与を決議、今後は、当社グループの中長期的な成長に対して、様々な助言や協力体制を構築していく事に合意しております。

同時に、当社の100%子会社である日本直販の株式の一部(20%)を秋元康氏の関係者に譲渡することで、より強固な関係を築いて参ります。

秋元康氏は、AKB48とその地方姉妹グループ、乃木坂46・櫻坂46・日向坂46、アイドル3.0プロジェクトなどの女性グループのプロデューサーとしてだけでなく、最近ではSHOW-WA、MATSURIなどの男性グループのプロデュースも手掛けており、BtoCビジネスへの造詣が非常に深い方です。

今回20%の株式を譲渡する日本直販は、2022年7月に当社がグループ化した総合通販事業を展開している連結子会社であります。日本では誰も通信販売を認知していなかった1976年に本格的な通販サービスを開始した老舗ブランドであり、現在でも、通販業界の先駆者としての存在感を示し続けております。

収益的には、グループ化時点で、赤字であったこともあり、当社グループとしては、その早期の収益化を進めてまいりました。具体的には、事業統合や人員の最適配置の推進によるコスト削減、営業では当社グループが得意とする駆け付けサービスでの訪問お手伝いサービス（購入者宅様で商品の設置・組立行う当社独自のサービス）をスタートさせるなど、その効果は着実に出てきております。

その一方で、当社は創業以来、BtoBビジネスが主力であったこともあり、通販というBtoCビジネスでのノウハウ獲得は課題であり、様々な可能性を模索してまいりました。

今回の譲渡に伴い、この課題を解消し、営業施策やブランド構築面では秋元康氏の知見を活用することで、日本直販の成長スピードを加速させることができると考えております。具体的には、以下の点について進めて参ります。

① 更なる顧客目線の追求

当社は現在に至るまで、BtoB 向けサービスを中心として事業展開をして参りました。中長期的にも BtoB サービス事業は業績拡大における 1 つの重要な基軸であり、今後も事業基盤として拡大を推進して参ります。

具体的には、秋元康氏が有する BtoC ビジネスのノウハウを活用することにより、当社のカルチャーに固定されない新鮮な視点、アイデアを持ち込むことが期待でき、新たなビジネスチャンス創出につながります。

② 新たな商品開発とプロモーション強化

当社は、直近では 2022 年 7 月に日本直販及び悠遊生活の 2 ブランドの M&A を実行し、総合通販事業を、新たな事業基軸として開始しております。

しかしながら、通販市場、一般消費者向け事業は、消費者の嗜好変化、買い方の多種多様化に伴い、新商材の開発、またその新商材のマーケティング、プロモーションが強く求められております。

日本直販及び悠遊生活においては、老舗通販ブランドとして培ってきた事業運営基盤をもとに、秋元康氏との協力体制を構築することで、新商材の開発からタレント起用によるプロモーション、独自コンテンツを活用したマーケティングを推進いたします。すでに取り扱っている製品のより積極的な販促から、今までにない新たな商品をより多くの一般消費者の方々にご利用いただける機会を創り出します。

具体的な例としましては、現在、500 万人を超える日本直販の利用者向けにプレミアム会員制度の創設を検討しており、ここで秋元康氏の企画を展開していきたいと考えております。

③ 新たなビジネス機会とエキスパートへのアクセス

秋元康氏は、幅広い業種業界で活躍しており、当社事業と連携することで、多様なビジネス機会にアクセスすることが可能となります。

また、秋元康氏は、これまで様々な文化、情報を新たに発信されてきました。新サービス、商材の開発後、秋元康氏と連携し、エキスパートな経験や専門知識を活かし、その展開を遂行力をもって実施いたします。日本直販は、現在シニア層を中心にご愛顧頂いておりますが、これらにより顧客層のさらなる拡大を図って参ります。

④ 新たな文化づくり

秋元康氏は、今までにない文化を創り、発信されてきました。また、当社も「日々挑戦、より良い未来のために」を Mission として掲げ、市場に革命を起こし新たな文化形成を目指しております。両者で共創することに合意し、ともに今までにないサービス、商材を開発、発信し、国内においての新たな文化を創り出して参ります。

⑤ 共同出資でのギグワーカーを活用した合弁会社設立の検討

具体的な内容につきましては、確定次第、改めて公表いたします。

2. 譲渡する株式（日本直販）の概要

(1) 名称	日本直販株式会社	
(2) 所在地	大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 2 番 2 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 村田 峰人	
(4) 事業内容	総合通販事業	
(5) 資本金	1 億円	
(6) 設立年月日	2022 年 7 月 1 日	
(7) 大株主及び持株比率	当社（ギグワークス株式会社）100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社が発行済株式の 100%を保有しております。
	人的関係	代表取締役社長、取締役(兼務)を派遣しております。
	取引関係	コールセンターやサポートサービス等で一定の取引がございます。
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態*		

決算期(単体)	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期(4ヶ月)
純資産	-	-	▲604千円
総資産	-	-	1,084千円
1株当たり純資産	-	-	▲3,023円
売上高	-	-	1,564,173千円
営業利益	-	-	▲28千円
経常利益	-	-	▲28千円
当期純利益	-	-	▲17千円
1株当たり当期純利益	-	-	▲89,752円
1株当たり配当金	-	-	-

*日本直販の設立は2022年7月のため、1期のみとなっております。

3. 株式譲渡の相手先の概要

株式譲渡の相手先につきましては、秋元康氏の関係者4名となります。なお、当該相手先について、記載すべき事項(資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況)はありません。

4. 譲渡株式数、譲渡前後の所有状況

(1) 譲渡前の所有株式数	200株(議決権の株:200個) 議決権割合 100%
(2) 譲渡株数	40株(議決権の株:40個) 議決権割合 20% 秋元康氏関係者4名:合計40株
(3) 譲渡価額	当事者間の守秘義務により非公開とさせていただきますが、譲渡価額は相手方との交渉により、公正なプロセスを経て決定しております。
(4) 譲渡後の所有株式株	160株(議決権の株:160個) 議決権割合 80%

5. 譲渡の日程

(1) 株式譲渡契約締結日	2023年9月11日
(2) 株式譲渡実行日	2023年11月30日

6. 秋元康氏の総合プロデューサー就任の理由および目的(総合プロデューサー就任日:2023年9月11日)

「1. 本件株式譲渡の理由及び内容」記載のとおり、当社の100%子会社である日本直販の株式の一部(20%)を秋元康氏の関係者に譲渡することで、より強固な関係を築いて参ります。

秋元康氏は幅広い業種業界で活躍しており、日本直販の事業基盤強化へ貢献いただけるものと判断したことから、日本直販の総合プロデューサーとして就任いただくものであります。

7. 秋元康氏の略歴等

氏名 (生年月日)	略歴
秋元 康 (1958年5月2日)	高校時代から放送作家として『ザ・ベストテン』など数々の番組構成を担当。作詞家としては美空ひばり『川の流れのように』、AKB48『恋するフォーチュンクッキー』等多くのヒット曲を生む。 2015年、作詞家としてシングル・トータルセールスが前人未到の1億枚を突破(オリコン調べ)。 企画・原作の映画『着信アリ』はハリウッドリメイクされ、2008年『One Missed Call』としてアメリカで公開。 原作の『象の背中』は2012年、韓国 JTBC でテレビドラマ化された。 近年はオペラの演出や歌舞伎公演の作・演出等も手がける。 2022年4月 紫綬褒章を受章。

8. 今後の見通し

本件譲渡並びに秋元康氏の総合プロデューサー就任に伴う2023年10月期の当社連結業績への影響は軽微ですが、2023年10月の当社連結業績につきましては、本日公表の「2023年10月期第3四半期決算短信」に記載しておりますので、ご参照ください。

以上